

ヒラメ稚魚分布密度調査結果（太平洋）について

青森県水産総合研究センターでは天然ヒラメの稚魚分布密度調査を 1999 年から行っており、今年も 7 月 31 日、9 月 4 日、9 月 17 日に桁網（水工研 型）を用いて太平洋の三沢市沖 8 点で調査を行いました（表 1、図 1）。今年のヒラメの分布密度は表 2 のとおりで（桁網効率を 0.28 とした）採集したヒラメのサイズは図 2 のとおりです。着底指数（水深別平均分布密度の年最高値）の推移を図 3 に示しました。今年の着底指数は昨年並みでした。

表 1 調査内容

項目	内容
概要	ヒラメ稚魚を桁網で採集した
使用漁具	水工研 型
桁網効率	0.28
調査水深	5m、10m
曳網速度	2ノット前後
曳網時間	5～20分間
調査時期	8月前後（6～11月）



図 1 調査点

表 2 ヒラメ分布密度（個体/1,000m²）

調査日/場所	水深 5m				水深 10m			
	四川目	淋代	六川目	塩釜	四川目	淋代	六川目	塩釜
7月31日	5	8	11	18	9	16	14	17
9月4日	10	10	4	11	11	4	0	22
9月17日	21	18	14	9	8	28	28	11

* 桁網効率を 0.28 とした。

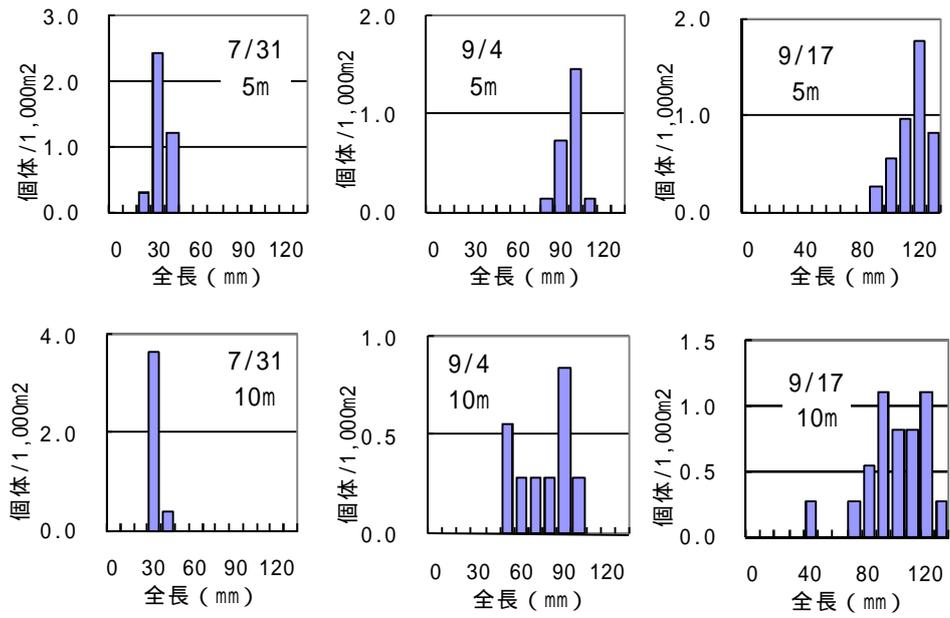


図2 採集したヒラメの全長別出現密度

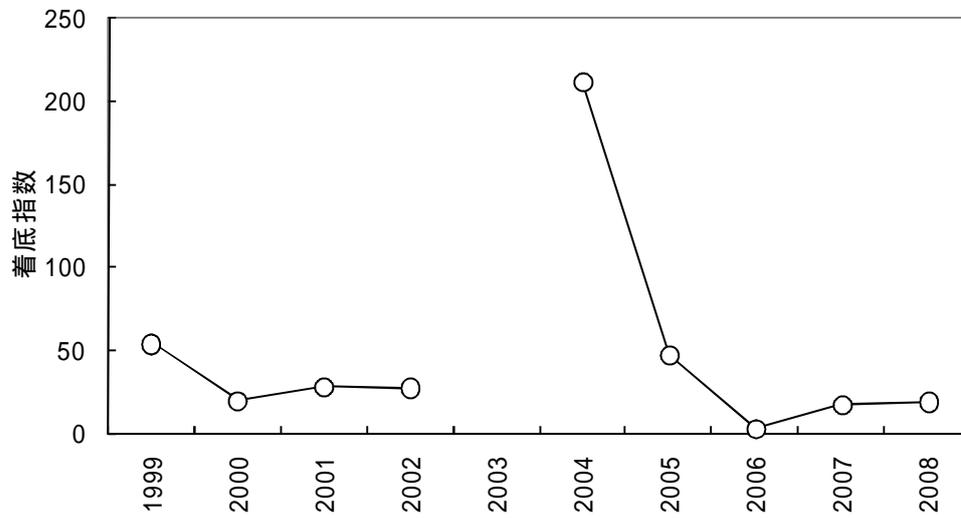


図3 太平洋のヒラメ着底指数の推移

(着底指数：水深別平均分布密度(個体/1,000m²)の年最高値。桁網効率は0.28とした。)